

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。  
<http://www.city.akita.akita.jp/>



市長 佐竹敬久

# 市長のほっこりコラム

ゴミは人間の営みに付随し、太古の昔から発生してきました。これが、現代の大量消費社会になつてからは、単なるゴミ処理という次元を超え、人類の存亡にも関係する地球環境や資源の限界など重要な問題にも結びついてきました。本市でも、昨年四月から溶融方式の新しいゴミ処理施設が稼働しましたが、高い公害防止機能のほか、自家発電や資源回収能力などに優れた環境を守るうえで頼もしい施設です。しかし一方で、環境に優しい高度な施設は、毎日の運転管理に想像以上の多額の経費を必要とします。また、この運転経費は、例えば大切な子どもたちの教育費用やお年寄りのための福祉費用といった、いわば活きたプラスのコストではなく、結局は燃えて無くなるマイナスのコストという見方もできます。現在、本市のゴミ処理には一年間で約五十三億円という膨大な経費がかかっていますが、仮に家庭ゴミの重量を一〇割減らすことができれば、なんと約四億円の節約が可能になる

# 「環境貯金箱」をどう使うか



## 環境貯金箱 作戦！ 検討中

秋田市ごみ減量キャラクター エコアちゃん

という試算になります。四億円といえは、新年度予算ではコミュニティセンター一館分の建築費を大きく上回る勘定になります。要は、ゴミの減量が目に見える形で進めば、その分だけ市民の皆さんから預かった貴重な税金を、別の様々なプラスの使い方に回すことができるということになります。ただここで思うのは、皆さんにゴミ減量をお願いしても、せっかく浮いた経費が果たして何に使われるの

かわからないのでは、皆さんもやる気が沸かないのではないのでしょうか。そこで、まずは市民の皆さんにこぞってゴミ減量作戦に参加していただき、その結果、節約できた経費は、例えば子どもたちの環境教育の場づくりだとか、街の美化だとか、目に見える形で市民還元したいと考えています。しかし、アイデア倒れになっては意味がありませんので、まずはどうしたらゴミの量を減らせるか、例えばスイカの皮は細かく切って出すなど具体的な方法や減量のための知恵を、市民に十分にお伝えすることから始めようと思っております。そして、市役所の前に大きな「環境貯金箱」を置き、節約した経費がどれだけ貯まったのかを広くお示ししながら、四角四面の役所の作戦ではなく、市民の皆さんに楽しみながら参加してもらえようという作戦にするため、今、担当職員ともども無い知恵を絞っている最中です。具体案がまとまった際には、なにとぞよろしくご協力を!!



## 合併のここが心配？

秋田市は明治38年以降、昭和30年まで、4町16村との編入合併を重ねて今日の姿となりました。今回、合併に進むとすれば、約50年ぶりの市をあげての大事業ということになります。市民のみなさんにもさまざまな不安が生じると思いますが、秋田市はいずれも前向きな発想で解決し、合併の効果を活かしていきたいと考えています。

### Q 両町の整備に投資が集中するのではないのでしょうか？

新しい市の一体性をつくるために必要な事業は、新しい市域の全体を対象に、国からの支援である合併特例債( )を使って集中的に行うことができます。したがって、合併後もずっと将来にわたり河辺町・雄和町だけに投資がかたよるということはありません。

合併特例債...合併から10年間に限って借りることができる地方債(借入金)で、利子を含んだ返済額の70%が後年度、普通交付税として国から補てんされます。

### Q 市域が広がることで、行政サービスは低下しないの？

両町との合併で市の面積が2倍近く拡大するため、投資・行政効率の低下が懸念されますが、行財政改革の徹底、電子自治体の推進、サービス提供方法の工夫、道路アクセスの改善などでサービスの水準は維持できるものと

### Q 借入金の多い町との合併で損はないの？

借入金による財政の圧迫については、地方債残高の多い、少ないだけでは一概に論じられません。地方債の中には、その返済分を将来交付税で国が補てんしてくれるものなどもあり、単純にその残高だけでは実質的な借入金の負担はわからないためです。3ページの表「財政規模の比較」からわかるように、1市2町の住民1人あたりの実質的な地方債の現在高に大きな違いはありません。

### Q 地域の伝統や文化が失われませんか？

行政の仕組みが変わっても、地域そのものはなくなりません。伝統や文化は、地域の人々が主体となって継承していくものです。また、その取り組みをさまざまな形で行政が支援していくことも可能です。

きりとりせん

のりしろ(A)

(たにあり)

きりとりせん

きりとりせん

のりしろ(A)  
(たにあり)

## 河辺町・雄和町との合併について私の意見

Blank lines for writing opinions.

(たにあり)

Blank lines for writing opinions.

住所	〒(    -    )			
氏名	フリガナ			
電話	-	年齢	歳	性別
				男・女